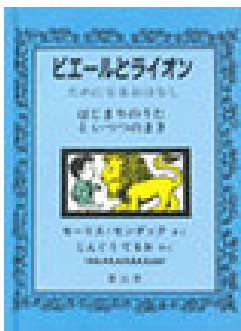


えほんの紹介

『ピエールとライオン』

モーリス・センダック/作 じんごう てるお/訳 富山房

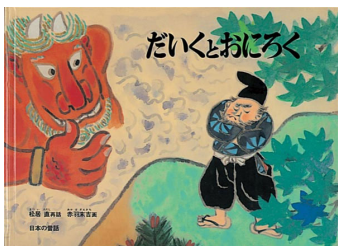
男の子のピエールは何をいわれても「ぼく しらない」しか言いません。お父さんもお母さんもその強情さにあきれ、ピエールをおいてでかけます。すると、留守中にやってきたライオンがピエールを飲み込んでしまいます。帰ってきた両親はライオンがベッドに寝ているのにビックリ!「ピエールどこ?」すると、ライオンが「ぼく しらない」と。さあ、その後ピエールはどうなったのでしょうか?



くせもののピエールと、とぼけたライオンの姿はとてもおかしく楽しい絵本です。この本もいれての四冊組、『チキンスープ・ライスいり』『ジョニーのかぞえうた』『アメリカワニです、こんにちは-ABCのほん』もどうぞお楽しみください。

『だいくとおにろく』

松井直/再話 赤羽末吉/画 福音館書店



名高い大工が流れの早い大川に橋をかけるよう頼まれました。大工は心配になり流れる水を見つめていると、水の中から大きな鬼が現れて、おまえの目玉をよこしたら、かわりに橋をかけてやるというのです。

橋はたちまち立派に出来上がり、鬼は目玉をよこせと迫ってきます。逃げ出す大工に、自分の名前をあてたら許してやるといいます。さあ、大工は鬼の名前をあてることができたでしょうか?

画面いっぱい描かれた力強い絵をじっくりご覧ください。名あての昔話はイギリスやドイツなどにもあります。

小さなおともだち '大好きなもの'

「くんはペンが大好きです。ペンをみれば「じーじー」といって、お絵かきが始まります。線しか書けなかったのに、最近は大きな丸や小さな丸、点々もかけるようになりました。

ある日の保育の時間でママの顔を描いてくれました。一番大きな丸です。目も鼻も丸です。口は大きく笑っています。その横にパパ、上下にお兄ちゃんたちも描いてあります。何となくパパが一番小さいみたい。点々でみんなを囲んで、とても仲よし家族の絵になりました。



春さがし

枠の中のことばから、「春がきたな」と思うものに○印をつけてくださいね。6つあります。

- | | | | |
|------|-------|--------|--------|
| スイカ | いちご | トウモロコシ | かき |
| つくし | ひまわり | さくら | コスモス |
| トンボ | ハクチョウ | セミ | ウグイス |
| どんぐり | スミシ | あさがお | チューリップ |



季節のわらべうた

♪ ひらいた ひらいた
なんのはな ひらいた
れんげのはなが ひらいた
ひらいたとおもったら
いつのまにか つぼんだ

つぼんだ つぼんだ
なんのはな つぼんだ
れんげのはなが つぼんだ
つぼんだとおもったら
いつのまにか ひらいた

春の陽いっぱいのれんげ畑を
思い浮かべながら歌いましょう。
みんなで輪になって手をつないで
歩いて、輪を小さくしたり大き
くしたりして遊びます。

